

— 卓球バレーのあゆみ —



◆1971年（昭和46年）

刀根山養護学校（当時は豊中市立の小中学校の分校、現在は大阪府立刀根山支援学校）体育教師の土佐朝一先生と児童が卓球台を使ったゲーム（ゴロ卓球）を考案し、「卓球バレー」と名付ける。

◆1974年（昭和49年）

近畿の筋ジストロフィー症児のための養護学校が開催した「第5回近畿筋ジストロフィー症児交歓会スポーツ交流会」の競技に取り入れられた卓球バレーの実施に当たり、当時の京都市立鳴滝養護学校が中心となってルールや用具の工夫・改善を重ねる。

◆1976年（昭和51年）

京都障害者スポーツ振興会に京都市立鳴滝養護学校が加入し、重度の障害者が楽しく団体でできる競技として「身体障害者のスポーツ研修会」で紹介。その後、京都障害者スポーツ振興会が「重度の障害者のスポーツ」として京都市・府内全域に普及活動を展開。

◆1981年（昭和56年）

国際障害者年を記念して開催された「第1回全京都身体障害者スポーツ大会」において、「卓球大会の部」の種目として団体戦に取り入れられる。



2011年(平成23年)6月10日
京都市立鳴滝総合支援学校の
校門横に設置された記念碑

◆1988年（昭和63年）

京都障害者スポーツ振興会が「卓球バレー競技規則」を制定。

◆1988年（昭和63年）10月30日

「第24回全国身体障害者スポーツ大会（京都大会）」において「公開競技」として開催。

◆1989年（平成元年）

「第9回全京都障害者総合スポーツ大会」より「卓球大会の部」から独立して「卓球バレー大会」として開催され、参加選手が1,000人を超える大会となる。

◆2008年（平成20年）10月12日

「第8回全国障害者スポーツ大会（大分）」オープン競技として全国交流大会を開催。（第1回）「日本卓球バレー連盟」設立。

◆2009年（平成21年）4月1日

京都障害者スポーツ振興会が編纂・発行を行ってきた「卓球バレー競技規則」が日本卓球バレー連

盟に移譲され、以後改訂・発行を引き継ぐ。

日本卓球バレー連盟が東・中・西の「3ブロック制」を導入し、中・西の2ブロックでスタート。

- ◆2011年（平成23年）10月23日
「第11回全国障害者スポーツ大会（山口）」オープン競技として大会を開催。（第2回）
- ◆2013年（平成25年）4月1日
日本卓球バレー連盟が「審判委員会」と「普及委員会」を設置。
- ◆2015年（平成27年）10月18日
「第15回全国障害者スポーツ大会（和歌山）」オープン競技として大会を開催。（第3回）
- ◆2016年（平成28年）10月23日
「第16回全国障害者スポーツ大会（岩手）」オープン競技として全国交流大会を開催。（第4回）
東ブロックの活動がスタート。
- ◆2017年（平成29年）12月10日
「2017卓球バレー全国交流大会（京都）」を開催。（第5回）
- ◆2018年（平成30年）10月14日
「第18回全国障害者スポーツ大会（福井）」オープン競技として
全国交流大会を開催。（第6回）
- ◆2019年（令和元年）10月6日
「第19回全国障害者スポーツ大会（茨城）」オープン競技として全国交流大会を開催。（第7回）
- ◆2020年（令和2年）
「2020卓球バレー全国交流大会（埼玉）」新型コロナのまん延により中止。（第8回）
- ◆2021年（令和3年）
「卓球バレー誕生50年記念 卓球バレー全国交流大会 in 大分 2021」新型コロナのまん延により
中止。（第9回）
- ◆2022年（令和4年）4月1日
日本卓球バレー連盟が「総務委員会」を設置。
- ◆2022年（令和4年）10月2日
「第22回全国障害者スポーツ大会（栃木）」オープン競技として交流大会を開催。
- ◆2023年（令和5年）3月11日
「第10回全国卓球バレー交流大会 in ひょうご 2023」を開催。（第10回）



◇2024年（令和6年）

「第23回全国障害者スポーツ大会（佐賀）」においてオープン競技として実施予定。

2023年3月17日現在